

とやま労福協

発行所 / (社) 富山県労働者福祉事業協会 〒930-0857 富山市奥田新町8番1号 TEL 076-431-0539 FAX 076-431-0510 ■発行責任者 / 宮本久雄



職場・地域から くらしサポート事業を



社団法人富山県労働者福祉事業協会
理事長 草嶋 安治

新年明けましておめでとうございます。
新春を緩やかな中にご家族とともに迎えられ、心からお慶び申し上げます。
今年は戌年で、戌は非常に忍耐強く、確固とした信念と人を助ける義侠心を持ち危機に対して冷静に判断行動すると言われています。今年こそこの社会の危機を変革する歴史的使命を果たすためにも、「組合が変わる、社会を変える、つくろう格差のない社会—職場・地域から」を合言葉にチャレンジしなければなりません。

景気は回復基調にありますが、依然として雇用、地域経済、所得、企業間の格差が拡大状況にあります。税・社会保障制度では取りやすいところから取るなど、負担増と給付削減が景気回復の足かせにもなっています。仕事と暮らしのさまざまな分野での2極化と格差・拡

大に深刻さが増しています。生活の安心・安定の実現を求めめるためにも労働福祉事業への期待が高まっています。労働者福祉は重大な局面にさしかかっています。

公助は危機的な状況にあり、自助は限界を超えつつあり、共助がきわめて重要な位置を占めることとなります。自主福祉事業と労働運動がまさに車の両輪となるために創業の精神に立ち返り、今年は労働者の暮らしにかかるサポート事業を地域の中から進めることで4団体で合意がされました。あわせてライフスタイルも職場を中心としたものから家庭・地域社会へと自らの意志で社会貢献の立場からボランティアクラブの設置をして挑戦していくこととしました。

力と知恵がある限り、力を合わせれば道は必ず開けます。確信を持ってがんばりましょう。

富山県労働者福祉事業は労福協をはじめ労働金庫、全労済、県生協、勤信協、ポルファートとやま、ゆ〜とりあ越中、北モータープールなど皆様の信頼と協力により事業の前進をはかっています。各団体・会員の一層の労働者福祉事業団体の利用とご支援をお願いします。

今年新たな飛躍と明るい年となりますようご祈念します。

今年もよろしくお願い致します

職	監																				理	常	専	副	理	
員	事																				事	務	務	理	事	
																						事	事	事	長	長
青	森	宮	松	工	高	今	金	北	今	安	藤	小	上	尾	瀬	小	毛	石	鶴	永	山	湊	西	宮	鈴	三
木	川	浦	藤	藤	福	戸	宮	井	東	畑	松	野	谷	川	西	利	黒	木	田	本	川	田	本	木	邊	嶋
真	美	泰	邦	林	政	範	英	順	総	友	康	陽	和	清	博	敏	悦	久	光	安						
佐	美	代	明	均	雄	蔵	敏	久	明	一	誠	司	隆	行	弘	亨	一	博	博	人	樹	夫	郎	晋	雄	男

すべての働く人の 先頭にたって頑張る！

日本労働組合総連合会富山県連合会
会長 草嶋 安治



新年明けましておめでとうございます。

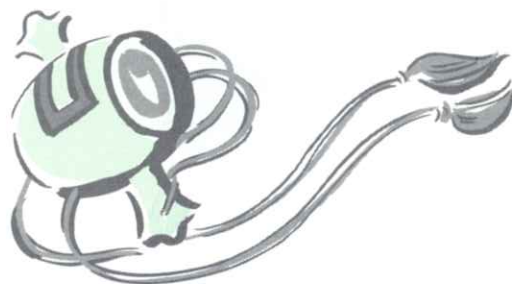
新春を緩やかな中にご家族とともに迎えられ、心からお慶び申し上げます。

景気は回復基調にあるといわれていますが、しかし雇用所得は依然として伸び悩んでおり、消費は一進一退が続いています。地域経済や中小企業は回復感が乏しい状況です。産業・企業間もまだら模様で景気が回復したとはいえない中で、政府は1月から定率税の縮小、さらに2007年1月から全廃を打ち出し、税・社会保障の負担増と給付削減等、弱いものいじめのサラリーマンを狙い撃ちの大増税を押し付けてきました。また、社会的課題として男女共同参画、公務員制度改

革、フリーター・ニート問題、政治活動の再活性化、平和問題など難問題を抱えています。この社会の不条理に対して闘う姿勢を持ち、行動することが出来るのが労働組合の役割と責任であることを肝に銘じ、このことに自覚を持った行動が強く求められています。

2006春季生活闘争をはじめ組織強化拡大、仕事と暮らしの安心を求める政策制度の実現をめざし、すべての働く人の先頭にたって、21世紀の未来のため、時代の改革に自信と誇りを持って頑張っていくことが必要です。

今年は新たな飛躍と明るい年となりますようご祈念します。



世界に羽ばたく 「元気とやま」の創造をめざして

富山県知事
石井 隆一



明けましておめでとうございます。西暦2006年の新春を皆様方とともに寿ぎたいと存じます。

労働福祉事業団体の皆様方には、日頃から労働者の福祉充実や生活向上のため、幅広い事業活動を積極的に展開されており、深く敬意を表します。

一昨年の11月に富山県知事に就任しましてから、早くも一年余が経過しました。この間、私は、「とやまの発展なくして日本の発展なし」の気概を持って、「活力」、「未来」、「安心」の三つの重点政策を柱に、世界に羽ばたく「元気とやま」の創造をめざし、全力を尽くしてまいりました。

まず、北陸新幹線につきましては、昨年6月に富山・金沢間が着工され、平成26年度末までの開業が確実となりました。また、富山・上海間の国際定期航空便につきましては、去る10月に就航が実現しました。さらに、県民生活を取り巻く緊急の課題に対処するため、

安全なまちづくり条例の制定やアスベスト対策などに取り組むとともに、中小企業勤労者福祉サービスセンターの広域化に向けた取組みや勤労者生活資金融資など勤労者福祉の向上にも努めてまいりました。

時代は今、大きな転換期を迎えております。このような時こそ、社会経済情勢の変化を踏まえつつ、中長期の大きな視野に立ち、具体的で先見性のある政策を着実に推進していかなければなりません。

このため、新しい総合計画「世界に羽ばたく『元気とやま』創造計画（仮称）」の策定に向け、現在、本格的な検討を進めているところであります。

幸い、富山県には、国内外に誇りうる優れた基盤がありますが、これらを活かし、県民一人ひとりが住みよさを実感できる、もっと元気な富山県を創りたいと思います。

県民の皆様のご知恵と力を結集して取り組んでいくことにより、必ずや展望が開け、富山県の輝かしい未来が切り拓かれていくものと確信しております。

新年にあたり、労働福祉事業団体の限りないご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申しあげまして、年頭のごあいさつといたします。

よりつきあいやすい 金融機関をめざして

北陸労働金庫

富山県本部長 金戸 範久



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

年頭にあたり、労働金庫にとって自信を持てる話題を紹介させていただきます。

昨秋「週刊ダイヤモンド」(10月22日号)において「預金者1万人が選ぶ つきあいたい銀行ランキング」という特集記事がありました。この中において、わが労働金庫は全国に数多くある銀行のうち、つきあいたい銀行として堂々の第7位の評価を受けております。私が日常感じているよりもかなり高い評価であり、全職員がお互いに自信を持ってこれからの業務に活かさなければと感じています。

ランキングの算出方法は、「ATM・店舗」「接客・応対」「商品・サービス」「地域密着・安心」の4部門17項目について、全国の1万人より回答をいただき、預金者のニーズをどれだけ満たしているかをはじき出したものです。

総合得点は第7位でしたが、17調査項目のうち労働

金庫が上位に評価されているものとして次の項目があります。

- ①ATM・店舗面では「ATMの利用できる時間が長く、手数料も安い」(6位)
- ②接客・応対面では「行員に気軽に相談しやすい」(1位)、「行員のカウンターでの対応が迅速、的確である」(4位)
- ③商品・サービス面では「金利や手数料が有利である」(2位)、「商品・サービスの質・レベルが高い」(6位)
- ④地域密着・安心面では「経営が健全である」(4位)

このような評価は、一朝一夕で作上げることができないものではなく、労働金庫創設以来、会員の皆さんと共に築き上げてきた賜物であり、大切な財産であるとともに、これから労働金庫が発展するための大きなポイントでないかと感じております。

昨年よりペイオフが全面解禁され、お客様が金融機関を選択する時代に突入しています。お客様から信頼される金融機関として、全役職員が日々の業務一つ一つに心を込めて取組んでいかなければと、気持ちを新たにしております。

皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げますとともに、労金への更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

人と人の協同を原点に

全労済富山県本部

理事長 三邊 進



新年あけましておめでとうございます。

協力団体・組合員の皆様には、全労済の事業に対し深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

生活者を取りまく環境は、経済が緩やかな回復基調にあるものの、長引く景気の低迷や雇用環境の悪化、急速に進む少子高齢化への社会保障制度・税制の見直しによる負担増など、一層の不透明さを増しています。

このような厳しい時代にあってこそ「保障の生協」としての歴史と信頼の重みをさらに認識し、生活者の暮らしを守るための役割を持っていかなければならないと決意を新たにしています。

お蔭様で全労済の事業概況は、全国で1,390万人の組合員、契約高は103.7兆円となっております。全労済は、組合員の豊かで安心な暮らしのために、生涯にわたる総合的な生活の保障をお手伝いするため各種共済をご

用意しております。

富山県本部においても組合員の生活向上に向け、組合員の最適保障の確保と可処分所得の向上をめざします。特に協力団体と一層の連携をはかりながら、生涯にわたる生活保障設計運動の充実をはかってまいります。今年も「こくみん共済」「火災共済と自然災害共済」さらに「マイカー共済」等を中心に一層の活動を推進いたします。

介護サービス事業については「人と人のつながりを大切にしたい」良質なサービスの提供と心のこもった訪問介護に努めます。

「越中庄川荘」の施設事業についても、リニューアル5年目を迎え、今後ともサービスを充実し安い料金で心のこもったおいしい料理を提供し、やすらぎの宿、勤労者の保養所として、皆様に喜んでいただけるよう、更に努力をいたします。

今年も「組合員の全労済」の実現をめざすために、役職員一丸となって努力を重ねてまいります。皆様のご更なるご支援とご協力をお願いいたします。

皆様とご家族のご健康を心からお祈りいたしまして、新年のあいさつといたします。

「くらし」と「地域社会」に いきづく富山県生協

富山県生活協同組合

理事長 澁川 悦郎



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

2006年の新春をご家族揃ってご健勝でお迎えになったこと心よりお慶び申し上げますと共に、常日頃、富山県生協の諸活動に深いご理解とご協力を賜っておりますことに対しまして厚く御礼申し上げます。

昨年は、9月に富山市金屋に“新しい生協づくり”の本拠地となります本部・富山センターを新築移転という一大事業を成し遂げ、さらに10月には開催いたしました「けんせいきょう祭り2005」を富山県・富山のご協力を頂きながら開催し、昨年を上回る39000名の多くの組合員・県民の皆さんのご来場を頂き、富山県生協をより身近に感じて頂けたものと思っています。

くらしをめぐる情勢は、景気の回復が言われていますが、定率減税の廃止、社会保険負担増加、消費税の増税論議や原油の高騰など、くらしの実感からすれば家計の切迫感が依然強いものがあります。

富山県生協では、協同の力で心豊かなくらしと共生

手軽に融資が受けられる 勤労者の総合福祉を支える みんなの保証人

財富山県勤労者信用基金協会

理事長 山本 敏夫



新年あけましておめでとうございます。2006年の新春をご家族ともどもご健勝に迎えられたこととお慶び申し上げますとともに、日頃勤信協の事業活動に対し、深いご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

政府・日銀の11月月例経済報告では、企業収益が高水準で推移するもとで企業の設備投資に関しては引き続き増加、個人消費も底堅く推移しているとし、景気の基調判断を「ゆるやかに回復している」と判断した報告が出された。05年10月の完全失業率は4.5%で、景気回復や企業の業績改善を背景に、仕事をやめて好条件の職を求めたり、主婦層などで職探しに動く完全失業者が増えたため前月比0.3ポイント上昇。企業に勤める雇用者数が5,457万人と過去最多を更新し、数字の上では雇用情勢の改善は進んでいるが、よりよい環境の下で働く勤労者と、社会的構造問題を抱える厳しい環

社会づくり実現を図るべく、組合員のふだんのくらしにもっと役立つ事業の展開と地域社会の一員として食の安心・安全行政の推進や地域福祉づくり、地球温暖化防止の取組み、男女共同参画の推進、子育て支援など社会的要請課題に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

今年も、役職員・組合員が一丸となって「組合員のくらし」「地域社会」にいきづく生協づくりを推進していく所存です。

なお一層の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げ、年頭のご挨拶と致します。



境の中に置かれた勤労者が多数存在する二極化問題が顕著に現れており、勤労者を取り巻く環境は自己破産や民事再生が依然として多く発生するなど厳しい状況が続いております。

勤労者を取り巻く生活環境が依然厳しい中、信用保証機関としての勤信協の役割は従来にも増して重要であり、いまこそ保証協会の代位弁済能力や財務内容の健全性を一段と高め、勤労者の生活総合福祉の向上に向けて、勤労者が安心して利用できる勤信協を目指し、役職員一同頑張っている所存でございます。

皆様方のより一層のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、皆様方のご多幸を心より祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

勤労者の砦！

(株)ボルファートとやま

代表取締役 永田 博樹



新春を謹んでお喜び申し上げます。

日頃よりボルファートとやまの事業発展のため多大なるご理解とご協力を賜り心よりの感謝とお礼申し上げます。昨年は開業20周年の節目の年でありました。記念行事やイベント、記念商品の販売等を実施いたしました。これらにつきましてもご協力を頂きましたことに重ねてお礼申し上げます。

さて、ボルファートとやまを取り巻く環境は厳しさをましております。主軸の婚礼事業においては、昨年近隣に新規の結婚式場もオープンしたこともあり、前年度を大きく下回る内容になっております。お客様のニーズの変化、式場のスタイルの変化にハード面に対応できなくなっているのも事実です。しかし私どもには福祉会館時代からの経験があり、ボルファートとやまならではのサービスや内容を更に構築、提供してまいります。

宴会事業におきましても大型居酒屋の出店ラッシュ

の中、売上を確保するために精一杯の努力をしております。競争激化、価格の下落はボルファートとやまの経営を苦しめている要因のひとつでもありますがお客様のニーズにあった内容や要望に応じていきたいと考えております。

貸室事業も各企業の経費削減のあおりを受け、売上の確保、稼働率の向上につながっておりません。また、従来ご利用いただいていた団体が、収容人数等の関係で他の会場をメインに移行したことが拍車をかけています。

20年前、皆様の大きな支援でオープンさせていただきましたボルファートとやまの意を再度ご理解いただき、更なるご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

私どももその期待に応えるべく努力を重ねてまいります。お客様の満足度にこだわり頑張っております。

勤労者の砦、勤労者の「ボルファートとやま」を今年も宜しく願いいたします。

末筆ながら皆様にとりまして良い1年になりますように、またご多幸とご発展を心より祈念申し上げ新年の挨拶といたします。

お客さまのニーズの 高まりに応えます

春日温泉観光開発(株)・ゆ〜とりあ越中

取締役社長 鶴木 清人



新年明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで、輝く2006年の新春を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、ゆ〜とりあ越中に多くの皆さまにご来館を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ゆ〜とりあ越中は、勤労者の保養施設として、家族の団欒・憩いの場として親しまれ、平成11年6月の開業以来今日まで、約30万人(宿泊客16.9千人・日帰り客13.1千人)の皆様方にご利用いただいております。

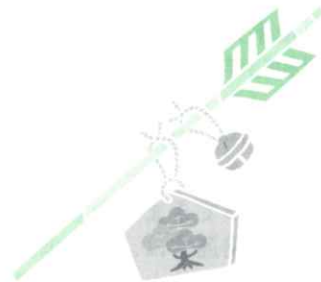
昨今の温泉旅館・施設等を取り巻く情勢は、お客様の利用形態が団体享楽型から個人静養型へ移行しつつあることや、家族・グループ等の少人数単位利用が増加しているなど、大きく様変わりしてきています。

また、旅館・施設の特徴を前面に押し出し、お客様の差別化を図る傾向が一層強まっており、そのことは、料金の低価格化もしくは高価格化の二極化傾向となっ

てきています。

このように、温泉旅館業界が昨年にも増して厳しい情勢となる中“ゆ〜とりあ越中”は、「露天風呂の拡張」、「食事処の増設」、「ロビーの改装」(平成18年3月上旬の竣工予定)等に取り組み、癒し、憩い、語り等、お客様ニーズの高まりに応じていきます。

富山市の奥座敷“春日温泉・ゆ〜とりあ越中”に、皆様方の一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



地域の発展に貢献する 駐車所をめざす

㈱富山北モータープール

代表取締役社長 三邊 進



新年明けましておめでとうございます。

皆様にはご家族お揃いで健やかに新春を迎えられたこと、心からお慶びを申し上げます。

日頃より株式会社富山北モータープールに対し格段のご厚誼を賜り誠に有難うございます。

福祉事業の発展に向け新たな決意で新年を迎えることが出来ますのも、偏に弊社駐車場をご利用頂いてます皆様方のご厚情のお陰と深く感謝と御礼を申し上げます。

富山駅北再開発計画の一環として労働福祉事業団体や富山市などで建設した駐車場は、「ボルファートとやま」の会館事業と密接に連携して駅北地域の振興発展に貢献してまいりました。

北陸新幹線の開業に合わせて、岩瀬港線を路面電車化しての「富山ライトレール」富山駅北乗り入れ工事もいよいよ最終版を迎え、今年度4月末の開業が予定されています。

国土交通省富山建設事務所の建設も進み、まもなく工事完成予定となっています。インテックビルの建設も進んでいることから、富山駅北地区の益々発展が期待され弊社駐車場が果たさなければならない役割は一層高まっていると自覚しています。

周辺地域には独自の駐車場が多く設置され低廉な価

格競争が、厳しく弊社の売上にも大きく影響していますことから、役職員一丸となって収益改善に取り組んでいきます。

引き続き「便利で安心して利用できる駐車場」として、経営努力を重ねる所存であります。今年も多くの皆様のご利用とご厚情をよろしくお願い申し上げます。

駐車料金

1. 普通駐車料金 (消費税込)

種別	単価	金額	
基本料金	入場から1時間迄	320円	
加算	8:00~20:00	以後30分ごと	110円
	8:00~20:00	以後1時間ごと	210円
	20:00~翌8:00	以後2時間ごと	110円
	20:00~翌8:00	以後4時間ごと	210円

2. 定期駐車料金 (消費税込)

種別	単価	金額	
全日券	24時間	1ヶ月につき	15,750円
	8:00~20:00		12,600円
平日券	24時間	1ヶ月につき	12,600円
	8:00~20:00		10,500円
土日祝	24時間		4,200円

3. 回数駐車券料金 (消費税込)

・110円券11枚つづり.....	1,100円
・210円券11枚つづり.....	2,100円
・320円券11枚つづり.....	3,200円

※回数券は、当社事務所及びボルファートとやまフロントで発売しております。

福祉基金の 「あり方」を検討する

㈱富山県労働福祉基金

理事長 草嶋 安治



新年あけましておめでとうございます。

みなさまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたことお慶び申し上げます。

また、平素より富山県労働福祉基金に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

富山県労働福祉基金は、100人未満の中小企業勤労者や未組織労働者の福祉の向上を図るために「財団法人」として、労働福祉事業団体など富山労福協や富山県、市町によって昭和63年9月28日に設立しました。

基本財産3億円(9千9百万円、市町5千1百万円、労働団体1億5千万円)の基金での運用益を充当して、保養施設利用や海の家、スキーリフト券補助など多くの付加給付事業を行ってきました。

平成7年以降の事業運営は、「富山県、市町村会館管理組合、労働福祉事業団体からの臨時負担金」と「過去の収支差額繰越残高取崩」による事業資金充当で何とか今日まで存続を図ってまいりました。

しかし、超低金利動向は総じて長期にわたり維持している今日、基本財産運用益による収入増はまったく期待できないどころか、ペイオフによる決済性預金の導入など、運用益収入はむしろ減少となっております。

しかも「臨時負担金」の継続実施は難しい環境下にあることや「繰越残高」も残り少なくなったことから、「基金のあり方」について見直し検討してまいります。

今後とも先人たちの歩みを回顧し、富山県労働福祉基金の設立原点に立ち返りながら、今日的な果たす役割を明確にして事業の推進を図ります。

引き続き、中小企業勤労者や未組織労働者の福祉向上のため、一層のご指導ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

給付事業

- ・スキー場リフト券の補助事業について
立山山麓スキー場(極楽坂・らいちょうバレー・あわすのスキー場)のリフト券を補助します。(一人1,000円)
- ・美術館入館券の補助事業について
県の美術館(水墨美術館、近代美術館)に入館する割引券を発行します。(一人160円)

連絡先 ボルファートとやま6階 富山県労福協
担当 森
TEL 076-431-0539 FAX 076-431-0510